

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	高等教育における国際的な学習成果の評価に関する調査研究等		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	高等教育企画課		高等教育企画課長 浅田 和伸		
会計区分	一般会計		施策名	XIV-2 国際協力の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	OECD(経済協力開発機構)が主体となって実施する「高等教育における国際的な学習成果の評価(AHELO)」に関する実現可能性を探ることを目的とした調査(フィージビリティ・スタディ)に参加し、実施内容について適切に調整を図ることにより、我が国においても適切な国際通用性を有する学習成果の評価手法を開発し、我が国の高等教育機関における教育内容・手法に関する評価・改善に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	OECD高等教育における学習成果の評価(AHELO)フィージビリティ・スタディに参加し、OECDの政府間会合に出席。また、高等教育における国際的な質保証を図る観点から、必要に応じて協議等を行う。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	32	7	6	4	14	
	執行額		28	2	3.5			
	執行率(%)		87.5%	28.6%	58.3%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (32年度)
	OECDの政府会合への出席を通じ、AHELO フィージビリティ・スタディの運営方針や、他国における進捗状況等、我が国のフィージビリティ・スタディ実施内容のあり方について必要な情報を得る。その情報に基づき、有識者及び関係者による協議を行い、フィージビリティ・スタディの実施内容を検討し、高等教育の改善に係る政策立案に資するような分析結果を得る。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	OECD高等教育における学習成果の評価(AHELO)専門家会合等への出席		活動実績 (当初見込み)	回		3 (-)	3 (3)	— ()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	※所掌する行政事務を実施・推進するものであるため、単純に単位当たりのコストを算出することはなじまない。				
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	拠出金		-	11百万円	OECDの予算案に基づく単年度の拠出(他参加国もそれぞれ拠出)			
	委員等旅費		1.1百万円	1百万円				
	職員旅費		2百万円	2百万円				
	庁費		0.5百万円	0.1百万円				
計		4百万円	14百万円					

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・本事業は、我が国の高等教育機関における教育内容・手法に関する評価・改善に資する行政事務に要する経費であり、国が実施すべき事業である。 ・計画していた会議を中止したこと等に伴い、不用が生じたものである。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・支出先の選定に当たっては、会計規則等に基づき複数業者から見積もりを取り寄せるなど、その妥当性や競争性を確保している。 ・事業の実施に当たっては、費目・使途など内容を精査しており、真に必要なものに限定して執行している。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・我が国の高等教育機関における教育内容・手法に関する評価・改善に資するためにOECD主催のAHELO専門家会合に出席するなど、事務費に要した経費は、政策実現のための手段として十分に活用されている。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名		－
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	・本事業に係る経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めた。 ・具体的には、OECDが実施する調査への参加等に係る経費を執行することで、我が国の高等教育機関における教育内容・手法に関する評価・改善に資する事務を円滑に実施した。 ・旅費、庁費の使途に応じて、有識者や業者などに支出しているが、経費の執行に際しては、執行一覧を作成し、支出先・使途を適切に把握している。 ・各年度の執行状況等を踏まえ、所要額の算定を適切に見直しており、平成24年度においては、前年度と同規模の必要経費を計上している。			
	予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点：本事業は、OECDが主体となって実施する「高等教育における国際的な学習成果の評価」に関する実現可能性を探ることを目的とした調査に参加し、我が国の高等教育機関における教育内容・手法に関する評価・改善に資するための事業であり、予算の措置手法・実施体制及び予算執行状況の観点から検証を行う。 2. 所見：本事業は、OECD政府間会合に出席するために必要な経費であるが、平成23年度決算において不用額が生じているが、平成24年度当初予算で既に予算の縮減を図るなど一定の見直しを実施している。平成25年度概算要求においても、積算単価の再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。			
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	これまでの執行実績及び平成23年度実績を踏まえて積算を見直すことにより、雑役務費等を縮減し、概算要求に▲0.4百万円反映した。			
	補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	0429	平成23年行政事業レビュー	0180	

A.文部科学省
3.5百万円

委員等旅費	1.7百万円
職員旅費	1.6百万円
庁費	0.2百万円

〔OECDが主体となって実施する「高等教育における
国際的な学習成果の評価(AHELO)」に関する実
現可能性を探ることを目的とした調査等に参加

※平成21年度には一年の期限付でOECD(経済協力開発機構)へ拠出金を拠出(平成
22年度より事務費のみ)。

※庁費は備品の借り上げ経費であり、1件100万円以上のものはない

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.文部科学省			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	委員等旅費	AHELO専門家会合への出席	1.7			
	職員旅費	AHELO専門家会合への出席	1.6			
	庁費	海外出張用携帯電話の借り上げ	0.2			
	計		3.5	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0